



長崎市立三原小学校

～寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ～

「笑顔いっぱい！真剣いっぱい！感動いっぱい！の三原っ子」



MIHARA TIMES

令和3年12月13日発行

文責 校長 宮原 友彦

みはら保育園の年長さんがやってきました！



12月9日にみはら保育園の年長さんが、三原小学校1年生教室に、給食の準備等の見学に来ました。「幼保認こ小連携事業」の一環で、保育園から小学校への連結がスムーズにいくように、初めての給食について、あらかじめ前知識を得ておいて、心の準備をするためのものです。ここ2年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で行えませんでした。感染状況が落ち着いているので、ようやく実施することができました。1年生が給食の準備を手早く済ませ、いただきますをする様子を見て、「すごい！」「速い！」と素直に感動してくれるので、1年生も鼻高々で、先輩気分を満喫していました♪

通知表について

保護者の皆さんにとって、通知表はお子さんに関わるものの中で最も関心のあるもののひとつだと思います。ここでは三原小学校が出す通知表について説明をしていきたいです。

「通知表」は学期ごとに保護者の皆さんに手渡される、お子さんの生活や学習の記録です。教科ごとに観点に分かれており、それぞれについて、「よくできる」「できる」「もう少し」という3段階で評価されます。

学習指導要領に示す教科の基礎的・基本的な内容が習得されていれば「できる」ということになりますので、「できる」ととれていたらしっかり頑張っていたということになります。さらに、「よくできる」は「できる」と判断されるもののうち、質的な高まりや深まりをもっていると判断されるものとなりますので、なかなか取れるものではありません。もし、「よくできる」に○がついていたら、すごいということです。

本校の学習の達成状況の評価方法は、「絶対評価」です。絶対評価とは、各教科の観点ごとに、決められた一定の基準をお子さんが満たしているかどうかについて評価するものです。基準に十分達していれば「よくできる」に、おおむね達していれば「できる」に、達していなければ「もう少し」に○がつきます。ですからクラス全員が「十分達成」ということもあります。現在、長崎市内の市立小学校は、全て絶対評価です。

学級担任が検討した基準(到達点)を満たしているかどうかを、「1. 単元ごとのテスト」「2. 日頃からおこなわれる小テスト」「3. ノートのチェック」「4. 学習課題への取り組み状況」「5. 各教科ごと、単元(題材)ごとの目標に応じた作文や作品、表現など」のさまざまな学習課題へ到達度から判断し、観点別に評価されます。「通知表」は、学期毎の到達状況を表したもので、ゴールではなく、通過点です。できるところとできないところを確認し、できるようになるための声かけや支援を、学校・家庭で共にしていきましょう。

三原に吹く風

長崎市は、最終的には離島部を除く全ての小・中学校の給食を、給食センターから配送でまかなうよう方針を決定しました。その第一弾として、北部学校給食センター(仮称 長崎市三重学校給食センター)が来年1月から稼働し、市内24校に配送されます。本校もその一校として、3学期から新しい形で給食がスタートすることになります。(令和8年9月に中部給食センターに移行予定)

そのため、今まで本校の給食を温かく、おいしく食べられるように尽力された大友ゆかりさん、木村加代子さんの2名の調理員さんが、2学期いっぱい本校を去ることとなりました(木村加代子さんは配膳員として、3学期から職種を変えて、本校を担当していただきます)。

戦前は、貧困児童の救済を主な目的とした学校給食も、現在では食育、健康教育を中心とした目的に変化しており、総合的に判断してセンター方式へ変更されるのは時代の流れなのかもしれませんが、やはり顔を見知った調理員さんたちが一生懸命給食を作っていた姿が見られなくなると、どうしても寂しさが先に立ってしまいます。

本校児童と教職員合わせて約200名の給食を、たったお二人で運営していただいたご苦労に感謝し、お二人のこれからの御活躍を心から願っております。本当にありがとうございました。



宮原のつぶやき

年末となり、いよいよ新しい年を迎えます。来年が皆さんにとって良い年になりますように！